



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2015年7月30日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、8月7日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。日本語で承認されている主な製品名および一般名についてはカタカナ表記をしています。

2015 年度第 2 四半期に堅調な売上高と 1 株当たり事業純利益⁽¹⁾の成長を記録

広範な地域と事業分野に亘り、売上高増を達成

- グループの売上高⁽²⁾は、4.9%増(調整前 16.1%増)の 93 億 7,800 万ユーロ
- 糖尿病領域における売上高の微減(3.8%減)は、前期の状況と、米国ですでに Toujeo[®](ランタス XR)のマーケットアクセスが大幅に進んでいることに合致
- ジェンザイムは、希少疾患製品が 9.1%増加し、多発性硬化症フランチャイズの売上高が 2 倍以上に増加したことを受けて 26.6%増
- 動物用医薬品は、NexGard[®](ネクスガード)に牽引され、今期も好業績を達成(14.2%増)
- ワクチンの売上高は、インフルエンザワクチンおよびブースターワクチンに牽引され、8.6%増
- 新興市場⁽³⁾の売上高は、7.5%増

堅調な財務実績

- 事業純利益は、CER ベースで 4.2%増(調整前 19.7%増)の 18 億 4,000 万ユーロ
- 1 株当たり事業純利益は、CER ベースで 5.1%増(調整前 20.5%増)の 1.41 ユーロ

革新的製品が大きく前進

- Praluent[®]が 7 月 24 日に米国で承認され、EU で承認勧告を受ける
- 7 月には糖尿病における LixiLan、5 月には関節リウマチにおける sarilumab に関し、第 III 相試験の肯定的な重要結果が発表される
- リキシセナチドの心血管系に関する安全性を評価する第 IIIb 相 ELIXA 試験の結果が発表され、米国規制当局への申請に用いられる
- ニーマンピック病 B 型に対する Olipudase alfa が第 II 相に進み、米国食品医薬品局(FDA)より画期的治療薬(Breakthrough Therapy)指定を受ける

腫瘍免疫領域において、Regeneron 社と新たな戦略的提携を開始

- 提携には、第 I 相にある PD-1 阻害剤、および現在は前臨床開発段階にある他の腫瘍免疫領域の抗体(LAG3、GITR、PD-L1 を含む)が含まれる

2015 年度通年の財務見通し

- 第 2 四半期の業績は、2015 年 2 月 5 日に発表した通年の見通しに一致しています。重大な予期せぬ要因が発生しない限り、2015 年度通年の 1 株当たり事業純利益⁽¹⁾は 2014 年度⁽⁴⁾並みから微増(為替レート変動の影響を除く)すると予測します。
- また、今後 2 四半期の為替レートが 2015 年 6 月の平均レート並みであることを前提とすると、10%程度の変動の影響が 2015 年度通年の 1 株当たり事業純利益に生じると予測されま

サノフィ最高経営責任者(CEO)のオリヴィエ・ブランディコールのコメント:

「サノフィは、2015 年度第 2 四半期に、予測と一致した売上高と利益の堅調な成長を達成しました。今後も複数製品の発売を予定しており、最近では Praluent[®]の承認を取得しました。また商業インフラ、生物学的製剤の生産能力、腫瘍免疫領域を含む研究開発プログラムにも投資しています。先般、2016 年 1 月付で実施する新たな組織構造を発表しました。組織の簡略化を図ると共に、将来の成長を最適化していきます」

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー
www.sanofi.co.jp

(1) 当グループの業績をわかりやすく示すため、事業純利益計算書について説明します。事業純利益は、GAAP（一般会計原則）に調整を加えた財務指標です（財務指標の定義は付録 10 を参照）。2015 年度第 2 四半期の連結損益計算書については付録 4 に、事業純利益から IFRS 純利益への調整については付録 3 に記載しています。(2) 特に指定のない限り、純売上高の増加は為替レート変動の影響を除いて (CER) 算出（定義は付録 10 を参照）(3) 8 ページを参照 (4) 2014 年度の 1 株当たり事業純利益は 5.20 ユーロ

2015 年度第 2 四半期および上半期の主要データ

	2015 年度 第 2 四半期	前年同期比 (調整前)	前年同期比 (CER)	2015 年度 上半期	前年同期比 (調整前)	前年同期比 (CER)
純売上高	€9,378m	+16.1%	+4.9%	€18,188m	+14.3%	+3.6%
事業純利益 ⁽¹⁾	€1,840m	+19.7%	+4.2%	€3,566m	+15.6%	+2.9%
1 株当たり事業純利益⁽¹⁾	€1.41	+20.5%	+5.1%	€2.73	+16.7%	+3.8%
IFRS 純利益 (調整前)	€1,302m	+67.6%		€2,325m	+24.9%	
IFRS 1 株当たり純利益 (調整前)	€1.00	+69.5%		€1.78	+26.2%	

2015 年度第 2 四半期および上半期の売上高

特に指定のない限り、当プレスリリースの売上高伸長データは為替レート変動の影響を排除して⁽¹⁾算出しています。

2015 年度第 2 四半期における売上高は、前年同期比（調整前）16.1%増の 93 億 7,800 万ユーロとなりました。為替レートの変動（主に、ユーロに対するドル高）により、11.2 ポイントのプラスの影響を受けました。為替レート変動の影響を排除した場合の売上高は、多角的事業の持続的な強みを反映し、4.9%増でした。

2015 年度上半期における売上高は、前年同期比（調整前）14.3%増の 181 億 8,800 万ユーロとなりました。為替レートの変動により、10.7 ポイントの好影響を受けました。

(単位: 100 万ユーロ)	2015 年度 第 2 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
医薬品	7,800	+3.7%	15,255	+3.0%
糖尿病	1,988	-3.8%	3,825	-3.5%
ジェンザイム	907	+26.6%	1,728	+28.6%
コンシューマー・ヘルスケア (CHC)	890	+1.3%	1,869	+3.4%
ジェネリック医薬品	520	+9.2%	998	+9.7%
オンコロジー	390	+3.6%	747	-1.9%
エスタブリッシュ処方製品	3,105	+3.1%	6,088	+0.8%
ワクチン	887	+8.6%	1,584	+2.5%
動物用医薬品	691	+14.2%	1,349	+13.9%
純売上高合計	9,378	+4.9%	18,188	+3.6%

医薬品

2015 年度第 2 四半期における医薬品事業の売上高は、主にジェンザイムとジェネリック医薬品の好業績が糖尿病の売上高減少によって一部相殺され、前年同期比（調整前）3.7%増の 78 億ユーロとなりました。上半期における医薬品事業の売上高は、3.0%増の 152 億 5,500 万ユーロとなりました。

⁽¹⁾ 財務指標の定義については、付録 10 をご参照ください。

糖尿病領域

(単位:100万ユーロ)	2015年度 第2四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
Lantus®(ランタス)	1,709	-5.8%	3,293	-5.4%
Amaryl®(アマリール)	109	0.0%	206	+0.5%
Apidra®(アピドラ)	93	+11.7%	184	+11.2%
Insuman®	34	0.0%	67	+1.5%
BGM(血糖測定器)	16	0.0%	32	0.0%
Toujeo®(ランタス XR)	13	-	20	-
Lyxumia®(リクスミア)	10	+50.0%	18	+54.5%
Afrezza®	2	-	3	-
糖尿病領域合計	1,988	-3.8%	3,825	-3.5%

第2四半期における**糖尿病領域**の売上高は、前期に引き続き、予測どおり米国で Lantus®(ランタス)の売上高が減少したことを反映し、**3.8%減の19億8,800万ユーロ**となりました。米国における糖尿病領域の売上高は、**14.0%減の11億3,400万ユーロ**であり、糖尿病の世界売上高に占める割合は**57%**でした。米国以外の糖尿病領域の売上高は、**11.2%増の8億5,400万ユーロ**であり、糖尿病の世界売上高に占める割合は**43%**でした。上半期における糖尿病領域の売上高は、**3.5%減の38億2,500万ユーロ**でした。

第2四半期における Lantus®(ランタス)の売上高は、**5.8%減の17億900万ユーロ**でした。Lantus®(ランタス)の米国での売上高は、主な保険支払者で有利な保険償還の位置付けを維持するために付与した割引が増加したことを受けて、**15.4%減の10億8,600万ユーロ**となりました。期中における Lantus®(ランタス)の米国での売上高は、**13.0%増**でした。第2四半期における Lantus®(ランタス)の新興市場での売上高は、中南米、中国、および中東に牽引され、**21.4%増の3億500万ユーロ**となりました。Lantus®(ランタス)の西欧諸国での売上高は、フランスおよびドイツの2桁成長によって牽引され、**6.1%増の2億3,000万ユーロ**となりました。7月、東欧諸国の小規模な市場で Lantus®(ランタス)のバイオシミラー製剤が発売されました。上半期における Lantus®(ランタス)の売上高は、**5.4%減の32億9,300万ユーロ**となりました。

3月末、次世代の基礎インスリンである Toujeo®(ランタス XR)が米国市場で発売され、すでに大幅なマーケットアクセスが達成されています。8月現在、被保険者の**73%**(Tier 2アクセスを有する**45%**を含む)がコマーシャルプランでカバーされ、Toujeo®(ランタス XR)に無制限にアクセスすることができます。メディケア・パートDでは、被保険者の**91%**が Toujeo®(ランタス XR)への無制限アクセスにおいてカバーされます。Toujeo®(ランタス XR)は4月にEUで承認され、ドイツ、オランダ、および一部の北欧諸国で発売されました。Toujeo®(ランタス XR)は、最近、日本、カナダ、オーストラリアでも承認されました。同製品の第2四半期の売上高は**1,300万ユーロ**、上半期の売上高は**2,000万ユーロ**でした。

第2四半期における Amaryl®(アマリール)の売上高は、前年同期並みの**1億900万ユーロ**であり、そのうち**9,000万ユーロ(1.3%増)**が新興市場で計上されました。上半期における Amaryl®(アマリール)の売上高は、前年同期並みの**2億600万ユーロ**でした。

第2四半期における Apidra®(アピドラ)の売上高は、新興市場(**27.8%増の2,400万ユーロ**)に牽引され、**11.7%増の9,300万ユーロ**となりました。西欧諸国での売上高は**8.3%増の2,600万ユーロ**、米国での売上高は前年同期並みの**3,400万ユーロ**でした。上半期における Apidra®(アピドラ)の売上高は、**11.2%増の1億8,400万ユーロ**でした。

第2四半期における Lyxumia®(リクスミア、一般名:リキシセナチド)の売上高は、**1,000万ユーロ**でした。6月、Lyxumia®(リクスミア)の第III相 ELIXA 心血管アウトカム試験の結果が第75回米国糖尿病学会(ADA)学術会議で発表され、7月、米国におけるリキシセナチドの新薬承認申請(NDA)に盛り込まれました。上半期における Lyxumia®(リクスミア)の売上高は、**1,800万ユーロ**でした。

新型吸入速効型インスリン治療薬である Afrezza®(MannKind社との提携)は、2015年2月に米国で発売されました。同製品の第2四半期の売上高は**200万ユーロ**、上半期の売上高は**300万ユーロ**でした。

ジェンザイム

(単位:100万ユーロ)	2015年度 第2四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
Cerezyme [®] (セレザイム)	199	+6.3%	388	+5.5%
Myozyme [®] (マイオザイム)/ Lumizyme [®]	165	+14.3%	321	+16.5%
Fabrazyme [®] (ファブラザイム)	146	+4.9%	287	+14.9%
Aldurazyme [®] (アウドラザイム)	50	+4.4%	98	+7.0%
Cerdelga [®] (サデルガ)	16	-	26	
希少疾患合計	647	+9.1%	1,260	+12.3%
Aubagio [®]	204	+80.4%	374	+84.0%
Lemtrada [™]	56	ns	94	ns
多発性硬化症合計	260	+118.4%	468	+118.3%
ジェンザイム合計	907	+26.6%	1,728	+28.6%

第2四半期におけるジェンザイムの売上高は、Aubagio[®]の好業績と Lemtrada[®]の発売の拡大によって牽引され、26.6%増の9億700万ユーロとなりました。ジェンザイムは、今期もすべての地域で2桁成長を記録しました。売上高は、米国では37.0%増の3億9,800万ユーロ、西欧諸国では24.9%増の2億6,500万ユーロ、新興市場では18.0%増の1億6,200万ユーロでした。上半期におけるジェンザイムの売上高は、28.6%増の17億2,800万ユーロでした。

第2四半期における希少疾患製品の売上高は、9.1%増の6億4,700万ユーロとなりました。

第2四半期におけるゴーシェ病フランチャイズの売上高は、13.1%増の2億1,500万ユーロでした。Cerezyme[®](セレザイム)の売上高は、新興市場(28.1%増の7,600万ユーロ)における好業績に牽引され、6.3%増の1億9,900万ユーロとなりました。ゴーシェ病1型成人患者のための唯一の経口第一選択治療薬である Cerdelga[®](サデルガ)の発売とそれに伴う治療薬切り替えから、Cerezyme[®](セレザイム)の米国での売上高は、11.1%減となりました。第2四半期におけるゴーシェ病フランチャイズの米国での売上高は、15.6%増の6,400万ユーロでした。上半期におけるCerezyme[®](セレザイム)の売上高は、5.5%増の3億8,800万ユーロでした。Cerdelga[®](サデルガ)の第2四半期の純売上高は1,600万ユーロ、上半期では2,600万ユーロでした。

第2四半期におけるFabrazyme[®](ファブラザイム)の売上高は、4.9%増の1億4,600万ユーロでした。同製品の米国(9.1%増の7,600万ユーロ)、西欧諸国(14.3%増の3,300万ユーロ)、およびその他の地域(25.0%増の1,900万ユーロ)での業績は、ブラジルでの出荷時期のずれによる売り上げ減少などに起因する新興市場での売上高減少(29.2%減の1,800万ユーロ)によって一部相殺されました。上半期におけるFabrazyme[®](ファブラザイム)の売上高は、14.9%増の2億8,700万ユーロでした。

第2四半期におけるMyozyme[®](マイオザイム)/Lumizyme[®]の売上高は、主に新規治療患者の増加により牽引され、14.3%増の1億6,500万ユーロとなりました。米国の成長(21.2%増の5,100万ユーロ)には、2014年後半に臨床試験に参加していた患者の移行が行われたことも貢献しています。同製品の新興市場での売上高は、20.0%増の3,100万ユーロとなりました。上半期におけるMyozyme[®](マイオザイム)/Lumizyme[®]の売上高は、16.5%増の3億2,100万ユーロでした。

第2四半期における多発性硬化症治療薬の売上高は、118.4%増の2億6,000万ユーロでした。

Aubagio[®]は、四半期売上高において初めてジェンザイム最大のブランドとなりました。Aubagio[®]の売上高は、米国(59.7%増の1億4,200万ユーロ)およびフランスの好業績を受けた西欧諸国(前年同期の2,100万ユーロに対し4,600万ユーロ)の売上高に牽引され、80.4%増の2億400万ユーロとなりました。上半期におけるAubagio[®]の売上高は、84.0%増の3億7,400万ユーロでした。

第2四半期におけるLemtrada[®]の売上高は、西欧諸国(主にドイツと英国)における2,100万ユーロや、昨年後半に同製品が発売された米国の2,900万ユーロを含め、5,600万ユーロとなりました。上半期におけるLemtrada[®]の売上高は、前年同期の1,100万ユーロに対し、9,400万ユーロとなりました。

コンシューマー・ヘルスケア

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 2 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
Allegra [®] (アレグラ)	116	+6.4%	258	+11.6%
Doliprane [®]	70	0.0%	155	-1.9%
Essentiale [®]	45	-18.2%	95	-12.4%
Lactacyd [®] (ラクタシード)	42	+12.5%	68	+5.3%
Enterogermina [®]	36	-5.6%	93	+16.2%
Nasacort [®]	32	0.0%	74	-10.3%
Maalox [®]	26	+13.0%	54	+8.0%
No Spa [®]	22	-4.0%	44	-1.9%
Dorflex [®]	20	-18.5%	43	-10.0%
Magne B6 [®]	21	+22.2%	41	+15.0%
その他の CHC 製品	460	+2.9%	944	+4.9%
コンシューマー・ヘルスケア合計	890	+1.3%	1,869	+3.4%

第 2 四半期におけるコンシューマー・ヘルスケア(CHC)製品の売上高は、Allegra[®](アレグラ)、Lactacyd[®](ラクタシード)、Maalox[®]、および Magne B6[®]に牽引され、1.3%増の 8 億 9,000 万ユーロとなりました。期中の CHC 製品の米国での売上高は、Allegra[®](アレグラ)およびその他の CHC 製品に支えられ、7.9%増の 2 億 3,700 万ユーロとなりました。CHC 製品の新興市場での売上高は、価格引き上げ後の需要低下によるロシアでの売上高減少がルーブルの下落を部分的に相殺し、微減(2.1%減)し、4 億 3,200 万ユーロとなりました。西欧諸国では、2015 年 1 月のフランスにおける Doliprane[®]の価格引き下げにもかかわらず、概ね前年同期並みでした(0.6%減の 1 億 6,100 万ユーロ)。上半期における CHC の売上高は、3.4%増の 18 億 6,900 万ユーロとなりました。

ジェネリック医薬品

第 2 四半期におけるジェネリック医薬品の売上高は、サノフィとパートナーの日医工株式会社が Plavix[®](プラビックス)のオーソライズドジェネリック医薬品を期末に発売した日本の売上高(その他の地域の売上高: 225.0%増の 2,700 万ユーロ)に牽引され、9.2%増の 5 億 2,000 万ユーロとなりました。新興市場におけるジェネリック医薬品の売上高は、東欧諸国に牽引され、6.0%増の 2 億 9,700 万ユーロでした。第 2 四半期における米国での売上高は 5.3%増の 5,000 万ユーロ、西欧諸国での売上高は 4.4%増の 1 億 4,600 万ユーロでした。上半期におけるジェネリック医薬品の売上高は、9.7%増の 9 億 9,800 万ユーロでした。

オンコロジー製品

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 2 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
Jevtana [®] (ジェブタナ)	82	+13.6%	159	+10.6%
Thymoglobulin [®] (サイモグロブリン)	69	+13.0%	124	+2.8%
Taxotere [®] (タキソテール)	62	-16.4%	115	-24.3%
Eloxatin [®]	57	+6.4%	111	+5.4%
Mozobil [®]	35	+19.2%	69	+19.6%
Zaltrap [®]	20	+20.0%	40	+19.4%
オンコロジー製品合計	390	+3.6%	747	-1.9%

第 2 四半期におけるオンコロジー製品の売上高は、Jevtana[®](ジェブタナ)、Thymoglobulin[®](サイモグロブリン)、Mozobil[®]、および Zaltrap[®]の好業績が、日本で Taxotere[®](タキソテール)のジェネリック医薬品の影響が続いていることによって一部相殺され、3.6%増の 3 億 9,000 万ユーロとなりました。上半期におけるオンコロジー製品の売上高は、1.9%減の 7 億 4,700 万ユーロでした。

第 2 四半期における **Jevtana**[®](ジェブタナ)の売上高は、米国(18.2%増の 3,300 万ユーロ)および 2014 年 9 月に同製品が発売された日本に牽引され、13.6%増の 8,200 万ユーロとなりました。上半期における **Jevtana**[®](ジェブタナ)の売上高は、10.6%増の 1 億 5,900 万ユーロでした。

第 2 四半期における **Thymoglobulin**[®](サイモグロブリン)の売上高は、米国(14.8%増)に牽引され、13.0%増の 6,900 万ユーロとなりました。上半期における **Thymoglobulin**[®](サイモグロブリン)の売上高は、2.8%増の 1 億 2,400 万ユーロでした。

第 2 四半期における **Taxotere**[®](タキソテール)の売上高は、主に日本でのジェネリック医薬品との競合を反映し、16.4%減の 6,200 万ユーロとなりました。同時期の **Eloxatin**[®]の売上高は、中国での成長に牽引され、6.4%増の 5,700 万ユーロとなりました。上半期における **Taxotere**[®](タキソテール)の売上高は、24.3%減の 1 億 1,500 万ユーロ、**Eloxatin**[®]の売上高は、5.4%増の 1 億 1,100 万ユーロでした。

第 2 四半期における **Mozobil**[®]の売上高は、米国(21.4%増の 2,100 万ユーロ)に牽引され、19.2%増の 3,500 万ユーロとなりました。上半期における **Mozobil**[®]の売上高は、19.6%増の 6,900 万ユーロでした。

第 2 四半期における **Zaltrap**[®]の売上高は、西欧諸国の売上高が米国の売上高減少を相殺し、20.0%増の 2,000 万ユーロとなりました。上半期における **Zaltrap**[®]の売上高は、19.4%増の 4,000 万ユーロでした。

エスタブリッシュ処方製品

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 2 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
Plavix [®] (プラビックス)	545	+15.3%	1,028	+2.1%
Lovenox [®]	433	-0.5%	871	+0.4%
Renvela [®] /Renagel [®] (レナジェル)	231	+43.1%	457	+26.5%
Aprovel [®] /Avapro [®]	224	+1.0%	425	+0.5%
Synvisc [®] (サイビスク)/Synvisc-One [®]	116	+4.3%	201	+3.7%
Multaq [®]	87	+10.6%	170	+2.9%
Myslee [®] (マイスリー) /Ambien [®] /Stilnox [®]	74	-6.8%	149	-9.3%
Allegra [®] (アレグラ)	37	-10.3%	117	-6.7%
その他	1,358	-3.0%	2,670	-1.9%
エスタブリッシュ処方製品合計	3,105	+3.1%	6,088	+0.8%

エスタブリッシュ処方製品の第 2 四半期の売上高合計は、3.1%増の 31 億 500 万ユーロ、上半期の売上高合計は 0.8%増の 60 億 8,800 万ユーロでした。

第 2 四半期における **Plavix**[®](プラビックス)の売上高は、2014 年度第 1 四半期の有利な購入パターンのために日本の前年同期の比較基準が低くなったことの恩恵を受け、前年同期比 15.3%増の 5 億 4,500 万ユーロとなりました。予測どおり、2015 年 6 月末に複数の **Plavix**[®](プラビックス)のジェネリック医薬品が日本市場に参入しました。2015 年下半期の **Plavix**[®](プラビックス)の売上高に影響が生じると考えられます。**Plavix**[®](プラビックス)の業績は、日本(39.2%増の 2 億 800 万ユーロ)と新興市場(9.4%増の 2 億 7,800 万ユーロ)によって牽引され、西欧諸国の売上高減少(16.7%減の 4,500 万ユーロ)は概ね相殺されました。上半期における **Plavix**[®](プラビックス)の売上高は、2.1%増の 10 億 2,800 万ユーロでした。

第 2 四半期における **Lovenox**[®]の純売上高は、0.5%減の 4 億 3,300 万ユーロとなりました。新興市場(5.4%増の 1 億 6,300 万ユーロ)と西欧諸国(2.7%増の 2 億 3,000 万ユーロ)での同製品の業績は、米国でジェネリック医薬品との競合のために売上高が減少した(55.2%減の 1,700 万ユーロ)ことによって相殺されました。サノフィは、競合他社がエノキサパリンのバイオシミラー製剤に関する販売承認申請を欧州の保健当局に提出したことを認識しています。上半期における **Lovenox**[®]の売上高は、0.4%増の 8 億 7,100 万ユーロでした。

第 2 四半期における **Renvela**[®]/Renagel[®](レナジェル)の売上高は、Impax 社に付与されたジェネリック医薬品の **Renvela**[®]錠の割り当てが限定的であったため、前年同期の比較基準が低くなったことから恩恵を受けた米国(59.1%増の 1 億 7,400 万ユーロ)の成長によって牽引され、43.1%増の 2 億 3,100 万ユーロとなりまし

た。期中に **Renvela®/Renagel®**(レナジェル)は、新興市場でも堅調な売上高の成長を記録しました(90.9%増の 2,300 万ユーロ)。ジェネリック医薬品は現在、一部の欧州諸国で販売されており、今後も米国でジェネリック医薬品が承認されるものと予測されます。上半期における **Renvela®/Renagel®**(レナジェル)の売上高は、26.5%増の 4 億 5,700 万ユーロでした。

第 2 四半期における **Aprovel®/Avapro®**の売上高は、1.0%増の 2 億 2,400 万ユーロとなりました。中南米に牽引された新興市場での好業績(19.8%増の 1 億 4,300 万ユーロ)によって、ジェネリック医薬品との競合による西欧諸国での売上高減少(26.9%減の 3,800 万ユーロ)が相殺されました。上半期における **Aprovel®/Avapro®**の売上高は、0.5%増の 4 億 2,500 万ユーロでした。

ワクチン

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 第 2 四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015 年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチン (Pentacel®、Pentaxim®、および Imovax® (イモバックス)ポリオを含む)	273	-14.1%	555	-1.4%
髄膜炎・肺炎ワクチン (Menactra®(メナクトラ)を含む)	145	+7.0%	242	+19.3%
成人用ブースター(追加接種)ワクチン (Adacel®を含む)	118	+21.7%	213	+10.4%
インフルエンザワクチン (Vaxigrip®と Fluzone®を含む)	114	+88.1%	136	-32.0%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用 ワクチン	97	-14.6%	179	-9.0%
その他のワクチン	140	+52.7%	259	+47.2%
ワクチン合計 (連結売上高)	887	+8.6%	1,584	+2.5%

第 2 四半期における**サノフィパスツールの連結売上高**は、南半球におけるインフルエンザワクチン、成人用ブースターワクチン、**VaxServe**(米国でワクチンを供給するサノフィパスツールの関連会社、売上高は「その他のワクチン」の項目に計上)に牽引され、8.6%増の 8 億 8,700 万ユーロとなりました。第 2 四半期におけるサノフィパスツールの米国での売上高は、7.6%増の 4 億 5,200 万ユーロ、新興市場での売上高は 11.3%増の 3 億 4,400 万ユーロとなりました。上半期におけるサノフィパスツールの売上高は、2.5%増の 15 億 8,400 万ユーロでした。

第 2 四半期における**ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチン**の売上高は、14.1%減の 2 億 7,300 万ユーロでした。これは米国で前年同期の売上高が比較基準として高かった **Pentacel®**の売上高が減少したこと、中国で段階的な供給調整のために **Pentaxim®**の売上高が減少したことを反映しています。期中に **Shantha** 社は、小児用 5 種混合ワクチンの **Shan5™**を国際保健団体への供給用として 700 万ユーロ販売しました。上半期におけるポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)ワクチンの売上高は、1.4%減の 5 億 5,500 万ユーロでした。

第 2 四半期における **Menactra®**(メナクトラ)の売上高は、新興市場(30.8%増の 1,900 万ユーロ)に牽引され、5.7%増の 1 億 3,300 万ユーロとなりました。上半期における **Menactra®**(メナクトラ)の売上高は、19.6%増の 2 億 2,000 万ユーロでした。

第 2 四半期における**成人用ブースターワクチン**の売上高は、**Adacel®**の供給増加の恩恵を受けた米国(16.9%増の 8,600 万ユーロ)に牽引され、21.7%増の 1 億 1,800 万ユーロとなりました。上半期における成人用ブースターワクチンの売上高は、10.4%増の 2 億 1,300 万ユーロでした。

第 2 四半期における**インフルエンザワクチン**の売上高は、今年のインフルエンザワクチンに 2 つの新しいウイルス株が組み込まれたため、南半球のインフルエンザキャンペーンが遅れたことの恩恵を受け、88.1%増の 1 億 1,400 万ユーロとなりました。上半期におけるインフルエンザワクチンの売上高は、サノフィパスツールとの

技術移転契約の結果、ブタンタン研究所の供給が増加したことによるブラジルでの売上高減少と、前年同期の米国における新型インフルエンザワクチンの売上高を反映し、32.0%減の1億3,600万ユーロとなりました。

トラベラーズワクチンおよびその他風土病用ワクチンの第2四半期の売上高は14.6%減の9,700万ユーロ、上半期の売上高は9.0%減の1億7,900万ユーロでした。

欧州におけるメルク社とのジョイントベンチャーであるサノフィパスツール MSD(サノフィに非連結)の第2四半期の売上高は、前年同期比(調整前)3.6%増の1億6,100万ユーロ、上半期の売上高は、前年同期比(調整前)4.2%減の3億ユーロとなりました。

動物用医薬品

(単位:100万ユーロ)	2015年度 第2四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
コンパニオンアニマル	464	+16.2%	907	+14.7%
産業動物	227	+10.4%	442	+12.3%
動物用医薬品合計	691	+14.2%	1,349	+13.9%
－ワクチン	205	+5.0%	391	+8.1%
－フィプロニル製品	194	+1.8%	387	+1.5%
－アベルメクチン製品	131	+16.3%	288	+17.0%

第2四半期における動物用医薬品の売上高は、今期も見事な回復を見せて2桁成長を達成し、14.2%増の6億9,100万ユーロとなりました。米国における動物用医薬品の売上高は20.3%増の3億4,500万ユーロ、新興市場における動物用医薬品の売上高は16.3%増の1億6,400万ユーロとなりました。上半期における動物用医薬品の売上高は、13.9%増の13億4,900万ユーロでした。

第2四半期におけるコンパニオンアニマル・セグメントの売上高は、NexGard[®](ネクスガード)の成功と、競合製品の供給制限が引き続きプラスに影響したHeartgard[®](カルドメック)の業績を反映し、16.2%増の4億6,400万ユーロとなりました。メリアルの新世代のノミ・マダニ駆除薬である犬用NexGard[®](ネクスガード)の売上高は、前年同期と比較して2倍以上に増加しました。期中のFrontline[®](フロントライン)製品群は、前年同期並みでした。7月、メリアルは、犬用の歯科衛生チュアブルであるOravet[®]を米国で発売しました。Oravet[®]は、投与しやすい独自のオプションであり、メリアルの幅広いペット製品ポートフォリオがさらに拡充されます。上半期におけるコンパニオンアニマル・セグメントの売上高は、14.7%増の9億700万ユーロでした。

第2四半期における産業動物セグメントの売上高は、米国のLongRange[®]およびブラジルのIvermecGold[®]の成功による反芻動物事業、ならびに新興市場における家禽事業の継続的な回復を受けて、10.4%増の2億2,700万ユーロとなりました。上半期における産業動物セグメントの売上高は、12.3%増の4億4,200万ユーロでした。

地域別純売上高

(単位:100万ユーロ)	2015年度 第2四半期 純売上高	前年同期比 (CER)	2015年度 上半期 純売上高	前年同期比 (CER)
米国	3,250	+2.1%	6,226	+1.5%
新興市場 ^(a)	3,182	+7.5%	6,041	+7.4%
－中南米	982	+7.1%	1,828	+7.1%
－アジア	934	+9.3%	1,783	+9.0%
－東欧、ロシア、およびトルコ	616	+3.0%	1,202	+5.7%
－アフリカおよび中東	602	+9.0%	1,132	+6.0%
西欧諸国 ^(b)	1,998	+3.4%	4,029	+1.9%

その他 ^(c)	948	+8.2%	1,892	+2.0%
－日本	545	+9.1%	1,114	-0.5%
合計	9,378	+4.9%	18,188	+3.6%

(a) 米国、カナダ、西欧諸国、日本、韓国、オーストラリア、ニュージーランドを除く各国

(b) フランス、ドイツ、英国、イタリア、スペイン、ギリシャ、キプロス、マルタ、ベルギー、ルクセンブルク、ポルトガル、オランダ、オーストリア、スイス、スウェーデン、アイルランド、フィンランド、ノルウェー、アイスランド、デンマーク

(c) 日本、韓国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド

第 2 四半期における米国の売上高は、2.1%増の 32 億 5,000 万ユーロでした。ジェンザイム(37.0%増)、動物用医薬品(20.3%増)、ワクチン(7.6%増)、オンコロジー(8.7%増)、および CHC(7.9%増)の業績が Lantus[®](ランタス)の売上高減少(15.4%減)によって部分的に相殺されました。上半期における米国の売上高は、1.5%増の 62 億 2,600 万ユーロでした。

第 2 四半期における新興市場の売上高は、糖尿病(17.0%増)、ジェンザイム(18.0%)、ワクチン(11.3%増)、動物用医薬品(16.3%)に牽引され、7.5%増の 31 億 8,200 万ユーロとなりました。第 2 四半期におけるアジアの売上高は、医薬品事業(10.6%増)に牽引され、9.3%増となりました。中国の売上高は、ワクチンの売上高減少によって Lantus[®](ランタス)および Plavix[®](プラビックス)の売上高が一部相殺されたため、9.2%増の 5 億 3,700 万ユーロとなりました。第 2 四半期における中南米の売上高は、ワクチン(23.8%)と動物用医薬品(12.9%)に牽引され、7.1%増の 9 億 8,200 万ユーロとなりました。中南米の売上高は、現地市場の状況に関連した購入パターンのため、今期もベネズエラの高い売上高(31.1%増の 1 億 9,900 万ユーロ)の恩恵を受けました(サノフィは、この需要が 2015 年を通じて再現されることはないかと予測しています)。ブラジルの売上高は、糖尿病とワクチンの売上高増加が CHC と希少疾患製品によって相殺され、5.2%減の 3 億 3,400 万ユーロとなりました。第 2 四半期における東欧、ロシア、トルコの売上高は、トルコとポーランドの業績がロシアの売上高減少によって相殺され、3.0%増の 6 億 1,600 万ユーロとなりました。ロシアの売上高は、現地の経済・通貨の状況に影響を受け、11.6%減の 1 億 5,900 万ユーロとなりました。アフリカおよび中東の売上高は、9.0%増の 6 億 200 万ユーロでした。上半期における新興市場の売上高は、7.4%増の 60 億 4,100 万ユーロとなりました。

第 2 四半期における西欧諸国の売上高は、ジェンザイムの好業績(24.9%増)と糖尿病の売上高の 6.5%増を含め、3.4%増の 19 億 9,800 万ユーロとなりました。上半期における西欧諸国の売上高は、1.9%増の 40 億 2,900 万ユーロとなりました。

第 2 四半期における日本の売上高は、Plavix[®](プラビックス)の低い比較基準とジェネリック医薬品の大きな貢献によって、ワクチンの売上高減少と Taxotere[®](タキソテール)のジェネリック医薬品との競合が概ね相殺されたことを反映し、9.1%増の 5 億 4,500 万ユーロとなりました。上半期における日本の売上高は、0.5%減の 11 億 1,400 万ユーロでした。

研究開発の最新情報

サノフィの研究開発パイプラインの全容については、付録 8 をご参照ください。

薬事関連の最新情報

2015 年 4 月 30 日の 2014 年度第 1 四半期業績発表以降、以下の薬事関連の出来事がありました。

- 7 月下旬、1 日 1 回投与の GLP-1 アナログであるリキシセナチドについて、糖尿病の治療薬として新薬承認申請(NDA)を米国食品医薬品局(FDA)に提出しました。
- 7 月、米国 FDA は、Praluent[®](一般名: alirocumab、Regeneron 社と共同開発中)を新しい薬剤クラスである PCSK9 阻害剤として初めて承認しました。Praluent[®]は、ヘテロ接合性家族性高コレステロール血症またはアテローム動脈硬化性心血管疾患のために低比重リポ蛋白(LDL)コレステロールのさらなる低下が必要な成人患者に対して、食事療法と最大耐用量のスタチンに追加して用いる薬剤として適応されます。これに並行して、7 月 CHMP は、EU での Praluent[®]の承認を勧告する見解を発表しました。EMA の最終決定は 9 月下旬に予定されています。

- 7月、日本の厚生労働省(MHLW)は、1型および2型糖尿病の治療薬として、次世代基礎インスリンである **Lantus® XR**(ランタス XR、米国および欧州では **Toujeo®**)の製造販売を承認しました。**Toujeo®**は、カナダでは5月、オーストラリアでは6月に承認されています。
- 6月、**olipudase alfa**はFDAから画期的治療薬(Breakthrough Therapy)に指定されました。この酵素補充療法は、ニーマンピック病B型患者の治療薬として、ジェンザイムによって開発が進められています。

2015年7月末時点の研究開発パイプラインは、36の新規分子化合物(ライフサイクルマネジメントを除く)および臨床開発段階にあるワクチンの候補から構成され、そのうち12は第III相あるいは規制当局に承認申請を行った段階にあります。

提携

7月末、サノフィとRegeneronは、腫瘍免疫の新興分野における新しい抗体がん治療薬の創薬・開発・販売に関する新規の世界的な提携を締結しました。契約の一部として、両社は、第I相試験を実施中のプログラム細胞死タンパク質1(PD-1)阻害剤を共同開発し、2016年には、進行中の革新的な前臨床プログラムに基づく新規候補薬に関して臨床試験を開始する予定です。PD-1のほか、前臨床開発中の他のターゲットには、リンパ球活性化遺伝子3(LAG3)抗体、グルココルチコイド誘発性腫瘍壊死因子レセプター関連タンパク質(GITR)、プログラム死リガンド1(PD-L1)阻害剤が含まれます。

ポートフォリオの最新情報

第III相:

- 6月、サノフィとRegeneronは、**Praluent®**(alirocumab)の第III相ODYSSEY JAPAN試験において、主要評価項目を達成したことを発表しました。**Praluent®**投与群では、**Praluent®**をスタチンを含む標準治療に追加することで、24週目時点のLDL-Cが標準治療のみに比べてベースラインから平均64%低下しました(p<0.0001)。
- 6月、心血管イベントの高リスクを有する2型糖尿病の成人患者において**Lyxumia®**(リクスマ)の心血管系(CV)に関する安全性を評価する第IIIb相ELIXA試験の完全な結果が発表され、米国FDAに提出したリキシセナチドに関する最近のNDAに用いられました。
- 6月、日本人参加者を対象とし、**Toujeo®**(ランタス XR)または**Lantus®**(ランタス)を合計12カ月間に亘り投与するEDITION JP 1継続投与試験およびEDITION JP 2継続投与試験(それぞれ1型糖尿病患者と2型糖尿病患者が対象)の結果が発表され、**Toujeo®**(ランタス XR)が**Lantus®**(ランタス)と比較して、同等の血糖コントロールを達成し、夜間低血糖の発現率を低下させることが明らかになりました。
- 5月、サノフィとRegeneronは、現在開発中の完全ヒト抗IL-6受容体抗体である**sarilumab**の第III相SARIL-RA-TARGET試験において、TNFα阻害剤(TNF-IR)で効果不十分または不耐の関節リウマチ(RA)患者での複合主要有効性評価項目を達成したことを発表しました。その他2つの第III相試験であるSARIL-RA-EASY試験とSARIL-RA-ASCERTAIN試験の結果も、主要評価項目を達成しました。これらの試験は、**sarilumab**のオートインジェクターデバイスの使いやすさを評価し、**sarilumab**の2つの用量の皮下投与と**tocilizumab**点滴投与の安全性を評価する安全性確認試験です。上記3件のSARIL-RA試験の詳細な結果は、今後の医学系学会で発表される予定です。

第II相:

- 5月、吸入コルチコステロイドおよび長時間作用型β作動薬で治療しているにもかかわらず、コントロール不良の中等度から重度の喘息の成人患者を対象とした**dupilumab**(Regeneronと共同開発)のピボタル第IIb相試験の中間解析により新たな肯定的結果が発表されました。この試験は、血中好酸球数が高値を示す喘息患者の肺機能を改善するという主要評価項目を達成しました。米国FDAとの協

議に基づき、この第IIb相試験は、喘息におけるdupilumabの生物製剤承認申請(BLA)に必要な2件のピボタル有効性試験の1件として考慮される可能性があります。コントロール不良の持続型喘息患者におけるdupilumabの第III相臨床試験が開始されました。

- ニーマンピック病B型の酵素補充療法として開発中のGZ402665 (olipudase alfa)が第II相に移行しました。
- サノフィは、サルコペニアにおいて評価していた抗GDF8モノクローナル抗体 (SAR391786、Regeneronと共同開発)の開発を進めないことを決定しました。
- 巣状分節性糸球体硬化症におけるfresolimumabの概念実証 (proof of concept: POC) 試験は達成されませんでした。

第I相:

- 変形性関節炎におけるTrkA拮抗剤であるGR389988が第I相に入りました。

2015年度第2四半期および上半期の業績

事業純利益⁽⁵⁾

2015年度第2四半期におけるサノフィの純売上高は、前年同期比(調整前)で16.1%増(為替レート変動の影響を排除した場合は4.9%増)の93億7,800万ユーロとなりました。上半期における売上高は、前年同期比(調整前)14.3%増(為替レート変動の影響を排除した場合は3.6%増)の181億8,800万ユーロとなりました。

その他収益は、第2四半期は16.9%増の8,300万ユーロ、上半期は5.8%増の1億6,300万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、その他収益は、欧州でEnbrel[®]の売上高に対して受け取るロイヤリティが減少したことを反映し、第2四半期は前年同期並み、上半期は7.8%減となりました。

第2四半期における売上総利益は、17.8%増(為替レート変動の影響を排除した場合は4.8%増)の65億2,300万ユーロとなりました。売上総利益率は、前年同期比から1.0ポイント増加し、69.6%となりました。この増加は、基本的に為替レート変動の好影響によるものです。ジェンザイムおよびRenagel[®](レナジェル)のプラス影響は、ワクチン製品構成と米国のLantus[®](ランタス)によって相殺されました。2015年度上半期の売上総利益率は、前年同期比から0.6ポイント増加し、69.4%となりました。サノフィでは引き続き、2015年度の売上総利益が68%~69%となるものと予想しています。

第2四半期における研究開発費は、糖尿病、alirocumab、オンコロジーへの支出が減少し、dupilumabへの支出が増加したことを反映して、8.6%増(為替レート変動の影響を排除した場合は0.3%減)の12億9,000万ユーロとなりました。上半期における研究開発費は、7.0%増(為替レート変動の影響を排除した場合は1.0%減)の24億8,900万ユーロとなりました。2015年度上半期の純売上高に占める研究開発費の割合は、0.9ポイント減の13.7%となりました。

第2四半期における販売費および一般管理費(SG&A)は、17.4%増の26億4,800万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、SG&Aは、多発性硬化症、動物用医薬品、糖尿病領域における製品発売を受けて5.9%増となりました。第2四半期の純売上高に占めるSG&Aの割合は、前年同期比で0.3ポイント増加し、28.2%となりました。上半期におけるSG&Aは、17.4%増(為替レート変動の影響を排除した場合は6.2%増)の50億8,600万ユーロとなりました。2015年度上半期の純売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、前年同期比で0.8ポイント増加し、28.0%となりました。

第2四半期におけるその他の当期営業損益は、Eligard[®]の米国の権利をTolmar Pharmaceuticals社に返還したことに関連した支払い(6,200万ユーロ)が含まれた前年同期の5,400万ユーロの収益に対し、2,000

⁽⁵⁾ 財務指標の定義については付録10、事業純利益からIFRS純利益への調整については付録3をご参照ください。

万ユーロの損失となりました。上半期におけるその他の当期営業損益(費用控除後)は、前年同期の 2,900 万ユーロの収益に対し、8,700 万ユーロの損失となりました。2015 年度上半期のこの項目には、ベネズエラでの業務に関連して計上された 1 億ユーロの為替損が含まれています。

第 2 四半期における**関連会社持分利益**は、前年同期の 2,600 万ユーロに対し、3,000 万ユーロとなりました。このデータには、2014 年 4 月以降の持分法に基づき計上された Regeneron 社の利益に占める当社の持分、および欧州におけるメルク社とのワクチン関連ジョイントベンチャーであるサノフィパスツール MSD の利益に占める当社の持分が含まれています。上半期における関連会社持分利益は、前年同期の 3,900 万ユーロに対し、6,100 万ユーロとなりました。

第 2 四半期における**非支配株主に帰属する純利益**は、前年同期の 3,000 万ユーロの損失に対し、2,900 万ユーロの損失となりました。上半期における非支配株主に帰属する純利益は、前年同期の 6,500 万ユーロの損失に対し、6,200 万ユーロの損失となりました。

第 2 四半期における**事業営業利益**⁽⁶⁾は、19.6%増の 25 億 6,600 万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、事業営業利益は 4.7%増でした。純売上高に占める事業営業利益の割合は、前年同期比で 0.8 ポイント増加し、27.4%となりました。上半期における事業営業利益は、15.7%増(為替レート変動の影響を排除した場合は 3.4%増)の 49 億 6,400 万ユーロとなりました。2015 年度上半期における純売上高に占める事業営業利益の割合は、0.3 ポイント増加し、27.3%となりました。

第 2 四半期における**純財務費用**は、前年同期の 9,400 万ユーロに対し、1 億 1,200 万ユーロでした。2014 年度第 2 四半期のこの項目には、金融投資の売却に関連する 3,100 万ユーロ(税引前)のキャピタルゲインが含まれています。上半期における純財務費用は、前年同期の 1 億 7,000 万ユーロに対し、2 億 900 万ユーロでした。

第 2 四半期および上半期の**実効税率**は、前年同期並の 25%となりました。

第 2 四半期における**事業純利益**⁽⁵⁾は、19.7%増の 18 億 4,000 万ユーロとなりました。為替レート変動の影響を排除した場合、事業純利益は 4.2%増でした。純売上高に占める事業純利益の割合は、前年同期の 19.0%に対し、19.6%となりました。上半期における事業純利益は、15.6%増(為替レート変動の影響を排除した場合は 2.9%増)の 35 億 6,600 万ユーロとなりました。上半期の純売上高に占める事業営業利益の割合は、前年同期比 0.2 ポイント増の 19.6%となりました。

2015 年度第 2 四半期の **1 株当たり事業利益**⁽⁵⁾(EPS)は、調整前では 20.5%増、為替レート変動の影響を排除した場合は 5.1%増の 1.41 ユーロとなりました。2015 年度第 2 四半期の期中平均発行済み株式数は、前年同期の 13 億 1,450 万株に対し、13 億 590 万株となりました。2015 年度上半期の **1 株当たり事業利益**⁽¹⁾は、調整前では 16.7%増、為替レート変動の影響を排除した場合は 3.8%増の 2.73 ユーロとなりました。2015 年度上半期の期中平均発行済み株式数は、前年同期の 13 億 1,720 万株に対し、13 億 720 万株となりました。

事業純利益から IFRS 純利益(調整前)への調整(付録 3 を参照)

2015 年度上半期の事業純利益と IFRS 純利益(調整前)間の主な調整項目は、以下のとおりです。

- 買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの 3 億 5,400 万ユーロ、ジェンザイムの 4 億 4,900 万ユーロ、メリアル社の 2 億 4,100 万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:5,700 万ユーロ)に関連した償却費、12 億 2,900 万ユーロ。2015 年度第 2 四半期には、買収企業の無形固定資産の公正価値での再評価(主にアベンティスの 1 億 7,600 万ユーロ、ジェンザイムの 2 億 2,300 万ユーロ、メリアル社の 1 億 2,200 万ユーロ)および取得した無形固定資産(ライセンス・製品:2,900 万ユーロ)に関連した償却費、6 億 1,100 万ユーロを計上しました。これらの項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。

⁽⁶⁾ 事業営業利益は、グループで使用されるセグメントの業績です。2015 年度第 2 四半期の連結損益計算書については、付録 4 に記載しています。

⁽⁵⁾ 財務指標の定義については付録 10、事業純利益から IFRS 純利益への調整については付録 3 をご参照ください。

- 無形固定資産に対する減損、2,800 万ユーロ(このうち 100 万ユーロが 2015 年度第 2 四半期に計上)。この項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。
- CVR に関連した偶発対価の公正価値の上昇(1,800 万ユーロ。このうち 500 万ユーロが 2015 年度第 2 四半期に計上)および Lemtrada[®]に関連したバイエル社の偶発対価の公正価値の低下(3,900 万ユーロ。このうち 5,900 万ユーロが 2015 年度第 2 四半期に計上)を反映した 7,100 万ユーロの収益。
- 3 億 8,100 万ユーロの事業再編費用(欧州の継続的な変革に関連する第 2 四半期の 2,800 万ユーロを含む)。
- 上記項目から生じた 5 億 6,100 万ユーロの税効果(無形固定資産に対する償却費から生じた 4 億 3,100 万ユーロ、事業再編費用に関連した 1 億 3,500 万ユーロ、無形固定資産の減損損失に関連した 1,000 万ユーロ、および偶発対価債務の公正価値での再評価に関連した 1,500 万ユーロから構成される。第 2 四半期の税効果は、無形固定資産に対する償却費から生じた繰延税金 2 億 1,400 万ユーロと偶発対価債務の公正価値での再評価に関連した 2,200 万ユーロの費用を含め、2 億 600 万ユーロでした(付録 3 を参照)。
- 当社株主に支払った配当に対する 1 億 1,100 万ユーロの税金
- 「関連会社持分利益」に含まれる、関連会社買収の一部としての資産および負債の公正価値での再評価、ならびにジョイントベンチャーの無形固定資産の償却に関連した 1 億 2,700 万ユーロの費用(税控除後)(このうち 6,500 万ユーロが 2015 年度第 2 四半期に計上)。この項目によって、グループにキャッシュ面の影響が生じることはありません。

資本配分

資本支出(6 億 6,700 万ユーロ)と運転資本(1 億 8,100 万ユーロ)の増加を考慮し、事業再編費用を除いた 2015 年度上半期における営業活動からの純キャッシュは、29%増の 30 億 8,400 万ユーロとなりました。この純キャッシュフローは、新株発行による収益(4 億 6,200 万ユーロ)によって部分的に相殺された株式の買い戻し(12 億 4,300 万ユーロ)、サノフィが支払った配当(36 億 9,400 万ユーロ)、買収・提携(売却を控除)(3 億 6,300 万ユーロ)、および事業再編費用(3 億 4,500 万ユーロ)のための財源に充当しました。その結果、純負債は、主に米ドルで保有された負債(3 億 9,100 万ユーロ相当)の換算の影響を含め、2014 年度 12 月 31 日時点の 71 億 7,100 万ユーロから、2015 年度 6 月 30 日時点の 97 億 2,600 万ユーロ(47 億 100 万ユーロの現金および現金同等物を控除)へと増加しました。

付録

付録一覧

- 付録 1: 2015 年度第 2 四半期および 2015 年度上半期の地域別・製品別連結純売上高
- 付録 2: 2015 年度第 2 四半期および 2015 年度上半期の損益計算書
- 付録 3: 事業純利益から IFRS 純利益(調整前)への調整
- 付録 4: 2015 年度第 2 四半期および 2015 年度上半期の連結損益計算書
- 付録 5: 純負債の変動
- 付録 6: 簡易連結貸借対照表
- 付録 7: 2015 年の為替感度
- 付録 8: 研究開発パイプライン
- 付録 9: 見込まれる研究開発マイルストーン
- 付録 10: 定義

付録 1: 地域別・製品別連結純売上高

2015 年度第 2 四半期純売上高 (単位: 100 万ユーロ)	合計	前年度 比 (CER)	前年度比 (調整前)	西欧諸 国	前年度 比 (CER)	米国	前年度 比 (CER)	新興市 場	前年度 比 (CER)	その他	前年度 比 (CER)
Lantus (ランタス)	1,709	-5.8%	9.8%	230	6.1%	1,086	-15.4%	305	21.4%	88	6.7%
Apidra (アピドラ)	93	11.7%	20.8%	26	8.3%	34	0.0%	24	27.8%	9	25.0%
Amaryl (アマリール)	109	0.0%	13.5%	4	0.0%	0	-100.0%	90	1.3%	15	0.0%
Insuman	34	0.0%	3.0%	20	5.3%	1	0.0%	14	8.3%	-1	-200.0%
BGM	16	0.0%	0.0%	15	0.0%	0	-	0	-	1	0.0%
Lyxumia (リクスマア)	10	50.0%	66.7%	5	25.0%	0	-	1	0.0%	4	200.0%
Afrezza	2	-	-	0	-	2	-	0	-	0	0
Toujeo (ランタス XR)	13	-	-	1	-	11	-	0	-	1	0
その他の糖尿病製品	2	-33.3%	-33.3%	0	-	0	-	1	-	1	-66.7%
糖尿病	1,988	-3.8%	11.2%	301	6.5%	1,134	-14.0%	435	17.0%	118	4.8%
Taxotere (タキソテール)	62	-16.4%	-7.5%	2	-75.0%	1	-50.0%	38	6.1%	21	-32.1%
Jevtana (ジェブタナ)	82	13.6%	24.2%	35	2.9%	33	18.2%	8	-10.0%	6	0
Eloxatine	57	6.4%	21.3%	1	0.0%	1	-	33	16.0%	22	-4.8%
Thymoglobulin (サイモグロブリン)	69	13.0%	27.8%	9	25.0%	38	14.8%	18	6.7%	4	0.0%
Mozobil	35	19.2%	34.6%	9	12.5%	21	21.4%	3	50.0%	2	0.0%
Zaltrap	20	20.0%	33.3%	12	22.2%	6	-16.7%	2	100.0%	0	-100.0%
その他のオンコロジー製品	65	-6.6%	6.6%	13	0.0%	41	0.0%	5	-25.0%	6	-28.6%
オンコロジー	390	3.6%	16.1%	81	3.9%	141	8.7%	107	6.4%	61	-9.8%
Aubagio	204	80.4%	110.3%	46	123.8%	142	59.7%	7	250.0%	9	200.0%
Lemtrada	56	733.3%	833.3%	21	300.0%	29	-	2	-	4	200.0%
Cerezyme (セラゼイム)	199	6.3%	13.7%	62	1.7%	49	-11.1%	76	28.1%	12	-7.7%
Cerdelga (サデルガ)	16	-	-	1	-	15	-	0	-	0	0
Myozyme (マイオザイム)	165	14.3%	24.1%	73	6.0%	51	21.2%	31	20.0%	10	37.5%
Fabrazyme (ファブラザイム)	146	4.9%	18.7%	33	14.3%	76	9.1%	18	-29.2%	19	25.0%
Aldurazyme (アウドラザイム)	50	4.4%	11.1%	18	6.3%	11	-11.1%	17	6.3%	4	25.0%
その他の希少疾患製品	71	-1.6%	10.9%	11	0.0%	25	9.5%	11	11.1%	24	-18.2%
ジェンザイム	907	26.6%	41.1%	265	24.9%	398	37.0%	162	18.0%	82	12.1%
Plavix (プラビックス)	545	15.3%	28.2%	45	-16.7%	0	-100.0%	278	9.4%	222	35.0%
Lovenox	433	-0.5%	2.9%	230	2.7%	17	-55.2%	163	5.4%	23	0.0%
Renagel (レナジェル) / Renvela	231	43.1%	68.6%	29	-15.2%	174	59.1%	23	90.9%	5	40.0%
Aprovel	224	1.0%	16.1%	38	-26.9%	5	-40.0%	143	19.8%	38	-5.7%
Allegra (アレグラ)	37	-10.3%	-5.1%	3	0.0%	0	-	1	-50.0%	33	-8.8%
Myslee / Ambien / Stilnox (マイスリー)	74	-6.8%	1.4%	9	-10.0%	17	-22.2%	17	7.1%	31	-3.2%
Synvisc (サイビスク) / Synvisc One	116	4.3%	24.7%	8	0.0%	90	-2.7%	14	44.4%	4	100.0%
Multaq	87	10.6%	31.8%	10	-16.7%	74	15.4%	2	0.0%	1	0
Depakine	108	2.0%	9.1%	35	0.0%	0	-	70	6.6%	3	-50.0%
Tritace	70	-10.7%	-6.7%	30	-9.1%	0	-	38	-10.0%	2	-50.0%
Lasix (ラシックス)	47	0.0%	4.4%	20	-5.0%	1	-	16	7.7%	10	0.0%
Targocid (タゴシッド)	42	2.6%	10.5%	20	-4.8%	0	-	19	13.3%	3	0.0%
Orudis	43	-16.7%	-10.4%	5	0.0%	0	-	37	-19.0%	1	0.0%
Cordarone (アンカロン)	33	-3.0%	0.0%	6	0.0%	0	-	19	0.0%	8	-11.1%
Xatral	23	-8.7%	0.0%	9	0.0%	0	-	12	-15.4%	2	0.0%
Actonel	6	-75.0%	-70.0%	0	-100.0%	0	-	4	-62.5%	2	-71.4%
Auvi-Q / Allerject	35	81.3%	118.8%	0	-	32	92.3%	0	-	3	33.3%
その他の処方薬	951	-2.4%	2.6%	391	5.2%	83	-29.3%	385	1.9%	92	-18.8%
その他の処方薬計	3,105	3.1%	12.1%	888	-1.8%	493	4.7%	1,241	5.3%	483	6.3%
コンシューマー・ヘルスケア	890	1.3%	9.1%	161	-0.6%	237	7.9%	432	-2.1%	60	14.6%
ジェネリック医薬品	520	9.2%	11.6%	146	4.4%	50	5.3%	297	6.0%	27	225.0%
医薬品	7,800	3.7%	14.4%	1,842	3.5%	2,453	-1.0%	2,674	6.5%	831	8.2%
ボリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型 (ヒブ)	273	-14.1%	-3.9%	10	66.7%	89	-20.0%	147	-8.8%	27	-32.5%
成人用ブースター (追加接種) ワクチン	118	21.7%	42.2%	8	0.0%	86	16.9%	19	63.6%	5	20.0%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎	145	7.0%	26.1%	0	-	113	-1.1%	30	31.8%	2	0
インフルエンザ ワクチン	114	88.1%	93.2%	1	0.0%	0	-	102	81.8%	11	233.3%
トラベラーズ ワクチン および その他 風土病用 ワクチン	97	-14.6%	-5.8%	6	-25.0%	31	-16.1%	44	-19.2%	16	16.7%
その他の ワクチン	140	52.7%	89.2%	-1	0.0%	133	59.7%	2	-60.0%	6	66.7%
ワクチン	887	8.6%	23.5%	24	9.1%	452	7.6%	344	11.3%	67	1.6%
フィブロニル製品	194	1.8%	14.8%	52	2.0%	104	-4.5%	33	34.8%	5	-28.6%
ワクチン	205	5.0%	13.9%	45	-2.2%	51	7.9%	94	4.8%	15	25.0%
アベルメクチン製品	131	16.3%	33.7%	10	-16.7%	83	17.5%	18	41.7%	20	17.6%
その他	161	53.3%	78.9%	25	9.1%	107	79.2%	19	31.3%	10	75.0%
動物用医薬品	691	14.2%	28.7%	132	0.0%	345	20.3%	164	16.3%	50	17.5%
グループ合計	9,378	4.9%	16.1%	1,998	3.4%	3,250	2.1%	3,182	7.5%	948	8.2%

2015年度上半期純売上高 (単位:100万ユーロ)	合計	前年度比 (CER)	前年度比 (調整前)	西欧諸 国	前年度比 (CER)	米国	前年度比 (CER)	新興市 場	前年度比 (CER)	その他	前年度比 (CER)
Lantus(ランタス)	3,293	-5.4%	9.6%	453	6.2%	2,093	-14.3%	581	19.7%	166	4.1%
Apidra(アピドラ)	184	11.2%	21.1%	51	8.5%	69	1.8%	46	29.4%	18	12.5%
Amaryl(アマリール)	206	0.5%	13.2%	8	-20.0%	1	0.0%	168	6.5%	29	-18.2%
Insuman	67	1.5%	3.1%	38	-5.0%	1	0.0%	28	16.7%	0	-
BGM	32	0.0%	0.0%	30	3.4%	0	-	1	0.0%	1	-50.0%
Lyxumia(リクスマア)	18	54.5%	63.6%	10	42.9%	0	-	3	200.0%	5	33.3%
Afrezza	3	-	-	0	-	3	-	0	-	0	-
Toujeo(ランタス XR)	20	-	-	1	-	18	-	0	-	1	-
その他の糖尿病製品	2	-33.3%	-33.3%	0	-	0	-	1	-	1	-66.7%
糖尿病	3,825	-3.5%	10.9%	591	5.6%	2,185	-13.0%	828	17.7%	221	-0.5%
Taxotere(タキソテール)	115	-24.3%	-15.4%	4	-62.5%	3	-40.0%	69	-11.6%	39	-33.3%
Jevtana(ジェブタナ)	159	10.6%	20.5%	73	0.0%	60	16.7%	16	-5.9%	10	800.0%
Eloxatine	111	5.4%	19.4%	2	0.0%	2	0.0%	65	12.0%	42	-2.5%
Thymoglobulin(サイモグロブリン)	124	2.8%	17.0%	18	12.5%	70	14.0%	27	-18.8%	9	0.0%
Mozobil	69	19.6%	35.3%	19	12.5%	39	18.5%	8	60.0%	3	0.0%
Zaltrap	40	19.4%	29.0%	25	50.0%	12	-28.6%	3	50.0%	0	-100.0%
その他のオンコロジー製品	129	-13.7%	-1.5%	27	-6.9%	79	-17.9%	13	-20.0%	10	11.1%
オンコロジー	747	-1.9%	9.9%	168	3.1%	265	-0.5%	201	-4.2%	113	-7.9%
Aubagio	374	84.0%	113.7%	82	115.8%	265	64.1%	13	300.0%	14	333.3%
Lemtrada	94	663.6%	754.5%	39	280.0%	45	-	4	-	6	400.0%
Cerezyme(セラゼイム)	388	5.5%	13.1%	123	2.5%	99	-10.0%	142	22.3%	24	0.0%
Cerdelga(サデルガ)	26	-	-	1	-	25	-	0	-	0	-
Myozyme(マイオザイム)	321	16.5%	26.4%	142	6.9%	99	25.0%	59	27.3%	21	31.3%
Fabrazyme(ファブラザイム)	287	14.9%	29.9%	64	18.9%	147	12.3%	37	12.9%	39	19.4%
Aldurazyme(アウドラザイム)	98	7.0%	14.0%	35	6.3%	20	0.0%	33	10.3%	10	11.1%
その他の希少疾患製品	140	4.2%	17.6%	23	9.5%	55	15.0%	19	18.8%	43	-14.3%
ジェンザイム	1,728	28.6%	42.9%	509	24.6%	755	37.4%	307	25.5%	157	16.1%
Plavix(プラビックス)	1,028	2.1%	12.7%	89	-24.1%	0	-100.0%	504	5.1%	435	7.0%
Lovenox	871	0.4%	4.1%	461	1.3%	43	-42.6%	320	8.2%	47	0.0%
Renagel(レナジェル)/Renvela	457	26.5%	47.9%	62	-6.2%	339	36.6%	45	31.3%	11	20.0%
Aprovel	425	0.5%	14.2%	75	-30.2%	8	-33.3%	268	19.3%	74	0.0%
Allegra(アレグラ)	117	-6.7%	-1.7%	6	0.0%	0	-	1	-50.0%	110	-6.3%
Myslee / Ambien / Stilnox(マイスリー)	149	-9.3%	-1.3%	19	-9.5%	35	-14.7%	33	7.1%	62	-13.2%
Synvisc(サイビスク)/Synvisc One	201	3.7%	23.3%	15	7.1%	155	-0.8%	24	29.4%	7	20.0%
Multaq	170	2.9%	22.3%	20	-9.1%	144	4.5%	5	0.0%	1	100.0%
Depakine	212	4.7%	11.0%	70	1.5%	0	-	135	8.6%	7	-25.0%
Tritace	145	-2.8%	1.4%	60	-7.7%	0	-	82	4.1%	3	-40.0%
Lasix(ラシックス)	89	4.9%	9.9%	38	-7.5%	2	0.0%	30	8.0%	19	33.3%
Targocid(タゴシッド)	82	2.7%	9.3%	40	-2.4%	0	-	38	13.3%	4	-25.0%
Orudis	93	3.6%	12.0%	9	-10.0%	0	-	82	5.6%	2	0.0%
Cardarone(アンカロン)	67	0.0%	3.1%	12	0.0%	0	-	39	5.6%	16	-11.8%
Xatral	48	-6.4%	2.1%	18	-5.3%	0	-	27	-7.7%	3	0.0%
Actonel	13	-70.7%	-68.3%	1	-88.9%	0	-	8	-55.6%	4	-78.6%
Auvi-Q / Allerject	52	65.4%	100.0%	1	0.0%	45	71.4%	0	-	6	50.0%
その他の処方薬	1,869	-2.7%	1.8%	785	0.4%	164	-31.5%	736	5.1%	184	-12.4%
その他の処方薬計	6,088	0.8%	8.9%	1,781	-4.1%	935	-0.5%	2,377	7.1%	995	-2.1%
コンシューマー・ヘルスケア	1,869	3.4%	9.9%	363	0.0%	496	6.6%	887	2.1%	123	15.0%
ジェネリック医薬品	998	9.7%	12.5%	284	0.7%	91	10.6%	574	9.1%	49	161.1%
医薬品	15,255	3.0%	12.9%	3,696	1.7%	4,727	-1.8%	5,174	8.4%	1,658	2.2%
ポリオ・百日咳・インフルエンザ菌 b 型(ヒブ)	555	-1.4%	12.1%	17	41.7%	207	1.2%	279	6.7%	52	-38.0%
成人用ブースター(追加接種)ワクチン	213	10.4%	29.9%	13	-18.8%	159	4.9%	31	61.1%	10	42.9%
髄膜炎菌性髄膜炎・肺炎	242	19.3%	41.5%	1	-	187	16.0%	50	29.7%	4	0.0%
インフルエンザワクチン	136	-32.0%	-29.9%	1	0.0%	-2	-104.8%	122	-25.6%	15	8.3%
トラベラーズワクチンおよびその他風土病用 ワクチン	179	-9.0%	0.6%	14	7.7%	50	-10.9%	84	-14.1%	31	3.7%
その他のワクチン	259	47.2%	79.9%	-1	-200.0%	246	50.8%	6	-16.7%	8	80.0%
ワクチン	1,584	2.5%	17.7%	45	4.7%	847	11.1%	572	-3.1%	120	-15.8%
ファイブロニル製品	387	1.5%	13.8%	121	6.3%	192	-4.9%	57	20.0%	17	-15.8%
ワクチン	391	8.1%	17.1%	87	-1.1%	94	5.6%	173	7.2%	37	59.1%
アベルメクテン製品	288	17.0%	35.8%	27	-3.6%	191	25.0%	29	17.4%	41	5.4%
その他	283	46.4%	68.5%	53	15.9%	175	59.6%	36	29.6%	19	125.0%
動物用医薬品	1,349	13.9%	28.0%	288	4.4%	652	17.8%	295	13.0%	114	25.6%
グループ合計	18,188	3.6%	14.3%	4,029	1.9%	6,226	1.5%	6,041	7.4%	1,892	2.0%

付録 2: 事業純利益計算書

2015 年度 第 2 四半期	グループ合計			医薬品			ワクチン			動物用医薬品			その他	
	(単位:100 万 ユーロ)	Q2 2015	Q2 2014	前年度 比	Q2 2015	Q2 2014	前年度 比	Q2 2015	Q2 2014	前年度 比	Q2 2015	Q2 2014	前年度 比	Q2 2015
純売上高	9,378	8,075	16.1%	7,800	6,820	14.4%	887	718	23.5%	691	537	28.7%	-	-
その他収益	83	71	16.9%	67	58	15.5%	8	7	14.3%	8	6	33.3%	-	-
売上原価	(2,938)	(2,608)	12.7%	(2,252)	(2,058)	9.4%	(450)	(350)	28.6%	(236)	(200)	18.0%	-	-
純売上高に占める割合	(31.3%)	(32.3%)		(28.9%)	(30.2%)		(50.7%)	(48.8%)		(34.2%)	(37.2%)			
売上総利益	6,523	5,538	17.8%	5,615	4,820	16.5%	445	375	18.7%	463	343	35.0%	-	-
純売上高に占める割合	69.6%	68.6%		72.0%	70.7%		50.2%	52.2%		67.0%	63.9%			
研究開発費	(1,290)	(1,188)	8.6%	(1,104)	(1,030)	7.2%	(142)	(123)	15.4%	(44)	(35)	25.7%	-	-
純売上高に占める割合	(13.8%)	(14.7%)		(14.2%)	(15.1%)		(16.0%)	(17.1%)		(6.4%)	(6.5%)			
販売費および一般管理費	(2,648)	(2,255)	17.4%	(2,216)	(1,930)	14.8%	(188)	(142)	32.4%	(244)	(183)	33.3%	-	-
純売上高に占める割合	(28.2%)	(27.9%)		(28.4%)	(28.3%)		(21.2%)	(19.8%)		(35.3%)	(34.1%)			
その他の当期営業損益	(20)	54		(11)	42		1	3		5	11		(15)	(2)
関連会社 ⁽¹⁾ および合併会社持分利益	30	26		29	25		1	1		-	-		-	-
非支配株主に帰属する純利益	(29)	(30)		(29)	(30)		-	-		-	-		-	-
事業営業利益	2,566	2,145	19.6%	2,284	1,897	20.4%	117	114	2.6%	180	136	32.4%	(15)	(2)
純売上高に占める割合	27.4%	26.6%		29.3%	27.8%		13.2%	15.9%		26.0%	25.3%			
財務収益(費用)	(112)	(94)												
法人税	(614)	(514)												
法人税率 ⁽²⁾	25.0%	25.0%												
事業純利益	1,840	1,537	19.7%											
純売上高に占める割合	19.6%	19.0%												
1 株当たり事業純利益 ⁽³⁾ (単位:ユーロ)	1.41	1.17	20.5%											

(1) 税控除後

(2) 税引前事業利益、関連会社、非支配持分に基づいて算出

(3) 2015 年度第 2 四半期の 13 億 590 万株、前年同期の 13 億 1,450 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

2015年度 上半期 (単位:100万 ユーロ)	グループ合計			医薬品			ワクチン			動物用医薬品			その他	
	H1 2015	H1 2014	前年度 比	H1 2015	H1 2014	前年度 比	H1 2015	H1 2014	前年度 比	H1 2015	H1 2014	前年度 比	H1 2015	H1 2014
純売上高	18,188	15,917	14.3%	15,255	13,517	12.9%	1,584	1,346	17.7%	1,349	1,054	28.0%	-	-
その他収益	163	154	5.8%	129	126	2.4%	14	14	-	20	14	42.9%	-	-
売上原価	(5,724)	(5,124)	11.7%	(4,442)	(4,046)	9.8%	(826)	(700)	18.0%	(456)	(378)	20.6%	-	-
純売上高に占める割合	(31.5%)	(32.2%)		(29.1%)	(29.9%)		(52.1%)	(52.0%)		(33.8%)	(35.8%)			
売上総利益	12,627	10,947	15.3%	10,942	9,597	14.0%	772	660	17.0%	913	690	32.3%	-	-
純売上高に占める割合	69.4%	68.8%		71.7%	71.0%		48.7%	49.0%		67.7%	65.5%			
研究開発費	(2,489)	(2,327)	7.0%	(2,143)	(2,025)	5.8%	(262)	(230)	13.9%	(84)	(72)	16.7%	-	-
純売上高に占める割合	(13.7%)	(14.6%)		(14.0%)	(15.0%)		(16.5%)	(17.1%)		(6.2%)	(6.8%)			
販売費および一般管理費	(5,086)	(4,333)	17.4%	(4,310)	(3,721)	15.8%	(344)	(271)	26.9%	(432)	(341)	26.7%	-	-
純売上高に占める割合	(28.0%)	(27.2%)		(28.3%)	(27.5%)		(21.7%)	(20.1%)		(32.0%)	(32.4%)			
その他の当期営業損益	(87)	29		(39)	19		2	1		5	17		(55)	(8)
関連会社 ⁽¹⁾ および合併会社持分利益	61	39		61	33		-	6		-	-		-	-
非支配株主に帰属する純利益	(62)	(65)		(62)	(65)		-	-		-	-		-	-
事業営業利益	4,964	4,290	15.7%	4,449	3,838	15.9%	168	166	1.2%	402	294	36.7%	(55)	(8)
純売上高に占める割合	27.3%	27.0%		29.2%	28.4%		10.6%	12.3%		29.8%	27.9%			
財務収益(費用)	(209)	(170)												
法人税	(1,189)	(1,036)												
法人税率 ⁽²⁾	25.0%	25.0%												
事業純利益	3,566	3,084	15.6%											
純売上高に占める割合	19.6%	19.4%												
1株当たり事業純利益 ⁽³⁾ (単位:ユーロ)	2.73	2.34	16.7%											

(1) 税控除後

(2) 税引前事業利益、関連会社、非支配持分に基づいて算出

(3) 2015年度第1四半期の13億7,200万株、前年同期の13億1,720万株という期中平均発行済み株式数に基づく

付録 3: 事業純利益から IFRS 純利益 (調整前) への調整

(単位: 100 万ユーロ)	2015 年度 第 2 四半期	2014 年度 第 2 四半期	前年度比
事業純利益	1,840	1,537	19.7%
無形固定資産の償却 ⁽¹⁾	(611)	(624)	
無形固定資産の減損	(1)	(71)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	70	(124)	
事業再編費用	(28)	(84)	
その他の損益および訴訟費用	-	-	
上記項目の税効果:	206	274	
無形固定資産の償却	214	207	
無形固定資産の減損	-	25	
偶発対価債務の公正価値での再評価	(22)	13	
その他の損益および訴訟費用	-	-	
事業再編費用	14	29	
その他の税目 ⁽²⁾	(111)	(110)	
上記項目中、非支配株主に帰属する利益	2	3	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社に対する買収の影響から生じる費用	(65)	(24)	
IFRS 純利益 (調整前)⁽³⁾	1,302	777	67.6%
IFRS 1 株当たり純利益⁽⁴⁾ (調整前) (単位: ユーロ)	1.00	0.59	

(1) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費に関して、2015 年度第 2 四半期は 5 億 8,200 万ユーロ、前年同期は 6 億 100 万ユーロとなった

(2) 当社株主に支払った配当に対する課税

(3) 当社株主に帰属する純利益

(4) 2015 年度第 2 四半期の 13 億 590 万株、前年同期の 13 億 1,450 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

事業純利益から連結純利益への調整については、12 ページを参照

(単位:100 万ユーロ)	2015 年度 上半期	2014 年度 上半期	前年度比
事業純利益	3,566	3,084	15.6%
無形固定資産の償却 ⁽¹⁾	(1,229)	(1,301)	
無形固定資産の減損	(28)	(74)	
偶発対価債務の公正価値での再評価	71	(132)	
事業再編費用	(381)	(135)	
その他の損益および訴訟費用	-	35	
上記項目の税効果:	561	522	
無形固定資産の償却	431	451	
無形固定資産の減損	10	26	
偶発対価債務の公正価値での再評価	(15)	14	
その他の損益および訴訟費用	-	(13)	
事業再編費用	135	44	
その他の税目 ⁽²⁾	(111)	(110)	
上記項目中、非支配株主に帰属する利益	3	4	
関連会社と合弁会社の事業再編費用、関連会社と合弁会社に対する買収の影響から生じる費用	(127)	(32)	
IFRS 純利益(調整前)⁽³⁾	2,325	1,861	24.9%
IFRS 1 株当たり純利益⁽⁴⁾(調整前)(単位:ユーロ)	1.78	1.41	

(1) 合併の一部としての無形固定資産の再評価によって生じた償却費に関して、2015 年度上半期は 11 億 7,200 万ユーロ、前年同期は 12 億 5,800 万ユーロとなった

(2) 当社株主に支払った配当に対する課税

(3) 当社株主に帰属する純利益

(4) 2015 年度第上半期の 13 億 720 万株、前年同期の 13 億 1,720 万株という期中平均発行済み株式数に基づく

事業純利益から IFRS 純利益(調整前)への調整については、12 ページを参照

付録 4: 連結損益計算書

(単位: 100 万ユーロ)	2015 年度 第 2 四半 期	2014 年度 第 2 四半 期	2015 年度 上半期	2014 年度 上半期
純売上高	9,378	8,075	18,188	15,917
その他収益	83	71	163	154
売上原価	(2,938)	(2,608)	(5,724)	(5,124)
売上総利益	6,523	5,538	12,627	10,947
研究開発費	(1,290)	(1,188)	(2,489)	(2,327)
販売費および一般管理費	(2,648)	(2,255)	(5,086)	(4,333)
その他の当期営業収益	47	106	83	116
その他の当期営業費用	(67)	(52)	(170)	(87)
無形固定資産の償却	(611)	(624)	(1,229)	(1,301)
無形固定資産の減損	(1)	(71)	(28)	(74)
偶発対価債務の公正価値での再評価	70	(124)	71	(132)
事業再編費用	(28)	(84)	(381)	(135)
営業利益	1,995	1,246	3,398	2,674
財務費用	(134)	(145)	(267)	(292)
財務収益	22	51	58	157
関連会社および合弁会社持分利益を除く税引前利益	1,883	1,152	3,189	2,539
法人税 ⁽¹⁾	(519)	(350)	(739)	(624)
関連会社および合弁会社持分利益	(35)	2	(66)	7
純利益	1,329	804	2,384	1,922
非支配株主に帰属する純利益	27	27	59	61
当社株主に帰属する純利益	1,302	777	2,325	1,861
期中平均発行済み株式数 (単位: 100 万株)	1,305.9	1,314.5	1,307.2	1,317.2
1 株当たり純利益 (単位: ユーロ)	1.00	0.59	1.78	1.41

(1) 2015 年度中に、当社株主に支払った配当に対する課税を含む: 前年同期の 1 億 1,000 万ユーロに対し、1 億 1,100 万ユーロ

付録 5: 純負債の変動

(単位: 100 万ユーロ)	2015 年度 上半期	2014 年度 上半期
事業純利益	3,566	3,084
有形固定資産およびソフトウェアの減価償却および減損	628	582
非流動資産の純売却損益(税控除後)	(44)	(97)
その他の非現金項目	(218)	(98)
運転資本変動前の営業キャッシュフロー⁽¹⁾	3,932	3,471
運転資本変動 ⁽¹⁾	(181)	(552)
有形固定資産およびソフトウェアの取得	(667)	(529)
フリーキャッシュフロー⁽¹⁾	3,084	2,390
ソフトウェアを除く無形固定資産の取得	(280)	(108)
投資株式の取得(引受債務込み)	(169)	(1,679)
支払い済みの事業再編費	(345)	(382)
有形固定資産、無形固定資産、およびその他の非流動資産の処分益(税控除後) ⁽¹⁾	86	179
サノフィ株式の発行	462	240
当社株主に支払った配当	(3,694)	(3,676)
自社株買い戻し	(1,243)	(1,010)
配当を含む非支配株主との取引	(16)	(6)
為替変動の影響	(391)	(37)
その他項目	(49)	(62)
純負債の変動	(2,555)	(4,151)

(1) 事業再編費用を除く

付録 6: 簡易連結貸借対照表

資産の部 (単位:100 万ユーロ)	2015 年 6 月 30 日 現在	2014 年 12 月 31 日 現在	負債・資本の部 (単位:100 万ユーロ)	2015 年 6 月 30 日 現在	2014 年 12 月 31 日 現在
有形固定資産	10,540	10,396	当社株主に帰属する持分	56,618	56,120
無形資産 (営業権を含む)	55,062	53,740	非支配株主に帰属する 純利益	156	148
非流動金融資産、関連会社 株式	5,373	4,959	資本合計	56,774	56,268
繰延税金資産	4,923	4,860	長期債務	10,770	13,276
			合併や非支配持分に関連した 固定負債	1,132	1,133
固定資産	75,898	73,955	引当金およびその他の固定 負債	9,206	9,578
			繰延税金	3,742	4,105
棚卸資産、売掛金、および その他の流動資産	17,308	16,086	固定負債	24,850	28,092
現金および現金同等物	4,701	7,341	買掛金およびその他の流動 負債	12,192	11,363
			合併や非支配持分に関連し た流動負債	141	131
			短期借入金および一年内 返済予定長期借入金	3,962	1,538
流動資産	22,009	23,427	流動負債	16,295	13,032
売却または交換するために 保留している資産	16	10	売却または交換するために 保留している資産に関連す る負債	4	-
資産合計	97,923	97,392	負債・資本合計	97,923	97,392

付録 7: 2015 年の為替感度

2015 年の 1 株当たり事業利益の為替感度

通貨	変動	1 株当たり事業利益の 為替感度
米ドル	-0.05 ドル/ユーロ	+0.10 ユーロ
日本円	+5 円/ユーロ	-0.03 ユーロ
ロシア・ルーブル	+10 ルーブル/ユーロ	-0.06 ユーロ

2015 年度第 2 四半期の通貨変動リスク

通貨	2015 年度第 2 四半期
米ドル	35.6%
ユーロ	23.0%
日本円	5.5%
中国元	5.4%
ブラジル・リアル	3.2%
英ポンド	2.0%
ロシア・ルーブル	1.6%
カナダ・ドル	1.5%
オーストラリア・ドル	1.5%
メキシコ・ペソ	1.4%
その他	19.3%

平均為替レート

	2014 年度 第 2 四半期	2015 年度 第 2 四半期	前年度比	2015 年 6 月 平均
ユーロ/ドル	1.37	1.10	-20%	1.12
ユーロ/円	140.03	134.14	-4%	138.74
ユーロ/元	8.54	6.85	-20%	6.96
ユーロ/ルーブル	47.96	58.12	+21%	61.24

付録 8: 研究開発パイプライン

申請中

N Praluent®(一般名:alirocumab) 抗 PCSK9 モノクローナル抗体 高コレステロール血症、EU	デング熱 軽度から重度までの デング熱に対するワクチン
N リキシセナチド GLP-1 受容体作動薬 2 型糖尿病、米国	PR5i DTP-HepB-Polio-Hib (ジフテリア・破傷風・百日咳、 B 型肝炎、ポリオ、ヒブ) 小児用 6 種混合ワクチン、米国、EU

第 III 相

LixiLan リキシセナチド+ インスリン グラレギン 固定比率合剤/2 型糖尿病	N patisiran (ALN-TTR02) TTR 標的 siRNA 阻害剤 家族性アミロイドポリニューロパチー	クロストリジウム・ディファイシル トキシノイドワクチン
N SAR342434 インスリンリスプロ 1 型・2 型糖尿病	N revusiran (ALN-TTRsc) TTR 標的 siRNA 阻害剤 家族性アミロイド心筋症	ロタウイルス 経口弱毒化 4 価生ロタウイルスワクチン
N sarilumab 抗 IL-6R モノクローナル抗体 関節リウマチ	Kynamro®(一般名:mipomersen) アポリポタンパク B-100 アンチセンス 重度の家族性高コレステロール血症ヘテロ接合体 米国	VaxiGrip® QIV IM 4 価不活化 インフルエンザワクチン
N dupilumab 抗 IL4Rα モノクローナル抗体 アトピー性皮膚炎、喘息	ジェブタナ®(一般名:カバジタキセル) 転移性前立腺がん(一次療法)	
SYNVISC-ONE® 医療機器 変形性股関節症による痛み		

第 II 相

dupilumab 抗 IL4Rα モノクローナル抗体 鼻ポリープ 好酸球性食道炎	N isatuximab 抗 CD38 モノクローナル抗体 多発性骨髄腫	狂犬病 VRVg 精製ペロ細胞狂犬病ワクチン
N vatelizumab 抗 VLA 2 モノクローナル抗体 多発性硬化症	N SAR125844 C-MET キナーゼ阻害剤 非小細胞肺癌	髄膜炎菌(4 価 ACYW) 結合型ワクチン 第 2 世代の髄膜炎菌結合型乳幼児用ワクチン
N SAR156597 IL4/IL13 二重特異性モノクローナル抗体 特発性肺線維症	N GZ402671 経口グルコシルセラミド合成酵素阻害剤 ファブリー病	結核 遺伝子組換えサブユニットワクチン
sarilumab 抗 IL-6R モノクローナル抗体 ブドウ膜炎	N olipudase alfa rhASM ニーマンピック病 B 型	

N	併用療法 ferroquine / OZ439 抗マラリア薬
---	---

第 I 相

N	GZ402668 GLD52 (抗 CD52 モノクローナル抗体) 再発性多発性硬化症	N	SAR566658 メイトンシン搭載抗 CA6 モノクローナル抗体 固形がん	N	GZ402666 Neo GAA ボンペ病
N	SAR113244 抗 CXCR5 モノクローナル抗体 全身性エリテマトーデス (SLE)	N	SAR408701 抗 CEACAM5 ADC 固形がん	N	GZ389988 TRKA 拮抗剤 変形性関節炎
N	SAR228810 抗プロトフィブリル AB モノクローナル抗体 アルツハイマー病	N	REGN2810 PD-1 阻害剤 がん	N	StarGen® 遺伝子療法 シュタルガルト病
N	SAR425899 GLP-1 / GCGR 作動薬 糖尿病	N	SAR125844 C-MET kinase inhibitor 固形がん	N	UshStat® 遺伝子療法 アッシュヤー症候群 1B
N	SAR439152 ミオシン阻害剤 肥大型心筋症				肺炎レンサ球菌 髄膜炎・肺炎ワクチン
					単純ヘルペスウイルス 2 型 HSV-2 ワクチン

N: 新規分子化合物

付録 9: 見込まれる研究開発マイルストーン

製品	イベント	時期
Praluent®(一般名: alirocumab)	高コレステロール血症に関する EC 規制当局の承認(見込み)	2015 年度 第 3 四半期
LixiLan	糖尿病における第 III 相試験の重要な結果(見込み)	2015 年度 第 3 四半期
Vaxigrip® QIV IM(3 歳以上)	EU での薬事承認申請(見込み)	2015 年度 第 4 四半期
デング熱ワクチン	流行国の規制当局の決定(見込み)	2015 年度 第 4 四半期
LixiLan	糖尿病に関する米国での薬事承認申請(見込み)	2015 年度 第 4 四半期
Sarilumab	関節リウマチに関する米国での薬事承認申請(見込み)	2015 年度 第 4 四半期
PR5i ワクチン(ジフテリア・破傷風・百日咳、B 型肝炎、ポリオ、ヒブ)	米国の規制当局の決定(見込み)	2015 年度 第 4 四半期
LixiLan	糖尿病に関する EU での薬事承認申請(見込み)	2016 年度 第 1 四半期
Dupilumab	鼻ポリープにおける第 III 相試験の開始(見込み)	2016 年度 第 1 四半期
PR5i ワクチン(ジフテリア・破傷風・百日咳、B 型肝炎、ポリオ、ヒブ)	EU の規制当局の決定(見込み)	2016 年度 第 1 四半期
髄膜炎(4 価 ACYW) 結合型ワクチン	第 III 相試験の開始(見込み)	2016 年度 第 1 四半期
Dupilumab	アトピー性皮膚炎における第 III 相試験の重要な結果(見込み)	2016 年度 第 1 四半期
ロタウイルスワクチン	インドでの薬事承認申請(見込み)	2016 年度 第 2 四半期
インスリン リスプロ	糖尿病における第 III 相試験の重要な結果(見込み)	2016 年度 第 2 四半期
リキシセナチド	糖尿病に関する米国の規制当局の決定(見込み)	2016 年度 第 3 四半期

付録 10: GAAP (一般会計原則) と異なる財務指標の定義

純売上高 (為替レート変動の影響を除く)

「純売上高 (為替レート変動の影響を除く)」での変化に言及する場合は、為替レート変動の影響が排除されていることを意味します。

為替レートの影響は、前期に使用された為替レートで当期の売上高を再計算することによって、排除されます。

2015 年度第 2 四半期および 2015 年度上半期の純売上高 (調整前) から純売上高 (為替レート変動の影響を除く) への調整

(単位: 100 万ユーロ)	2015 年度 第 2 四半期	2015 年度 上半期
純売上高	9,378	18,188
為替レートの影響	-910	-1,692
純売上高 (為替レート変動の影響を除く)	8,468	16,496

純売上高 (グループ構成の変動要因を除く)

以下のとおり、前期の純売上高を修正することにより、グループ構成の変動の影響が排除されます。

- 買収の影響は、買収の対象となった企業から提供された売上高に関する情報に基づき、現在の期間 (企業または製品の権利が取得された期間) に相当する、買収された企業または製品の前期部分の売上高を含めることによって、排除されます。
- 同様に、企業または製品の権利を売却した場合には、該当する前年同期部分の売上高が排除されます。
- 連結方式の変更については、現在の期間に使用された方式に基づいて、前期部分が再計算されます。

事業純利益

サノフィは、GAAP (一般会計原則) と異なる主要指標を発表します。この「事業純利益」という指標は「特別項目を除いた調整後純利益」を置き換えるものです。

事業純利益は、当社株主に帰属する純利益から以下の項目を除外したものと定義されます。

- 無形固定資産の償却
- 無形固定資産の減損
- 合併に関連する偶発対価債務の公正価値での再評価
- 買収に関連するその他の影響 (関連会社に対する買収の影響など)
- 事業再編費用⁽¹⁾
- その他の損益 (非流動資産の売却損益⁽¹⁾を含む)
- 訴訟に関わる費用または引当金⁽¹⁾
- 上記の各項目に対する税効果と主要な税務訴訟の影響
- 当社株主に支払った配当に対する課税 (3%)

(1) 連結損益計算書の Note B.20. で定義されているとおり、再編費用と売却・訴訟に関わる損益の勘定科目で報告されます。

サノフィについて

サノフィは、患者さんのニーズにフォーカスした治療ソリューションの創出・研究開発・販売を行うグローバルヘルスケアリーダーです。糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、ジェンザイムを中核としています。サノフィはパリ (EURONEXT : SAN) およびニューヨーク (NYSE : SNY) に上場しています。

今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関するFDAやEMAなどの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、為替レートと実勢金利のトレンド、コスト削減方針とその後の変更の影響、期中平均発行済み株式数、ならびにサノフィの2014年12月31日終了事業年度フォーム20-F年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成したSECおよびAMFに対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。